



自然エネルギー利用日本一の環境都市を目指して 新エネルギービジョンを策定

市では、豊かな自然や地域特性を最大限に活用した新エネルギーの導入を加速させるとともに、一層の省エネルギーの取り組みをすすめるため、「高山市新エネルギービジョン」を策定しました。
今号では、高山市のエネルギーに関する現状と今後の目指す姿・目標について紹介します。

エネルギーを取り巻く状況

私たちの暮らしや社会はエネルギーの消費によって成り立っており、必要なエネルギー量が安定的かつ継続的に確保される必要があります。

国内では、大規模な原子力発電所や火力発電所などによる一極集中型のエネルギー社会が構築されてきました。東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故を契機に、新エネルギーの導入加速化や一層の省エネルギーの取り組みによる地域分散型エネルギー社会の構築が求められています。

高山市の状況

エネルギー消費の状況

市内のエネルギー消費量は、平成22年度において約28万kℓ（原油換算）であり、そのうち、電気が約60%、ガソリンが約17%を占めています。

新エネルギー導入の状況

市内の新エネルギーの導入状況は、平成22年度において市内のエ



ルギー消費量の約0.5%に相当します。
国内の新エネルギー供給量が約3.7%であるのと比較すると、まだまだ低いのが現状です。

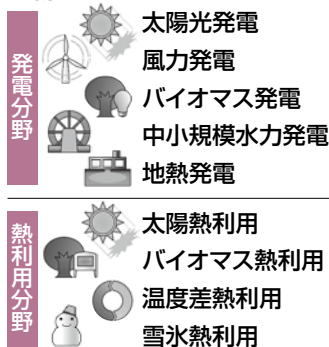
POINT 新エネルギーとは

石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料に代わる再生可能エネルギーのうち、導入を促進するために特に必要なエネルギーとして法律で定義された、太陽光発電や小水力発電などのエネルギーを「新エネルギー」といいます。
また、エネルギーの効率的な利用に役立つ技術として、「グリーンエネルギー自動車などの「革新的なエネルギー高度利用技術」についても、その開発や普及を促進することとされています。

再生可能エネルギー



新エネルギー



平成26年度子どもの読書活動優秀実践団体 「おはなしネット・ことだま」 文部科学大臣表彰を受賞



市図書館や学校、保育園などで絵本の読み聞かせを行っているボランティア団体の「おはなしネット・ことだま（代表：常光亮子じょうこうりょうこさん）」が、平成26年度の文部科学大臣表彰を受賞されました。
同団体は、市のブックスタート事業でも活躍いただいているほか、スキルアップのための学習会を開催するなど、子どもの読書を推進するために活動されています。

國島市長に受賞報告のため4月25日、市役所を訪れた常光さんは「絵本は親子が時間と感動を共有できるツールのひとつ。絵本の楽しさを伝えることによって、各家庭で読み聞かせを実践してもらえれば、子育ても楽しくなるのでは」と絵本の魅力を語りました。

問合せ先 生涯学習課 ☎35-3155